

上越ケーブルビジョン

平成 27 年度 第 2 回番組審議会 議事録

日時：平成 28 年 3 月 1 日（火）14:00～15:30

場所：J C V 2 F 会議室

出席者（審議委員；五十音順）

○池田 弘 氏 ○上野迪音 氏 ○小林美佐子 氏
○斉京貴子 氏 ○佐藤隆義 氏 ○西村 俊夫 氏

（上越ケーブルビジョン）

○専務取締役 齋藤俊幸
○放送部長 福嶋良章
○放送課長 佐藤康司

1. 開会
2. 会社挨拶（齋藤専務）
3. 会長挨拶（西村会長）
4. 議事

（1）レギュラー番組について

・ J C V ニュース L i N K について

（紹介内容：インバウンドについて 3 回シリーズのうち赤倉の取り組み、天気予報、）

（西村会長） 画面が伝える強さを感じる

（池田副会長） 地元の人でも山に行かないとその現状を知ることはできない。
商工会としても、いま地域でどのようなことが起きているのかを
知ることが出来てよい。

 こんなにたくさんの外国人が来ていることを知ってビックリする。

（上野委員） こんなに外国人が来ているのだとわかり驚く部分もあり、刺激になる。

今起きていることを知ることが出来てよい。

これを見て、自分も何かできるかもしれないとか、英語を学ぼうという人も出てくる
かもしれない。 天気予報は、○印だけでなくもう少し分かりやすく色々表示してもら
えると良い

（小林委員） 妙高のインバウンドに対する取り組みに頑張る姿を感じた。

それを見て、上越市の平場の人たちも刺激を受け、
自分たちもやってみようかと思うではないか。番組はそんな影響力がある。

（斉京委員） 上越の現状を知ることが出来てよい。

（佐藤委員） 今起きている現状を伝えられていてよいと思う
気象予報士の顔が大きすぎる気がする。

画面の配分をもう少し考えたほうが良いのでは。

また、インバウンドのように、もう少し踏み込んだ部分での特集的な物もあると見ごたえがあると思う。

・朝の情報番組「おはよう上越」について

(紹介内容：道路天気情報など)

(池田副会長) 自分は、FM みょうこうも聞いているが、テレビとラジオとの同時生放送の工夫は？

(福嶋) 「ご覧の・・・」等の言葉を使わないなどアナが表現を工夫している。

(池田委員) 朝の忙しい時間帯など主婦にとってはありがたいかも。

(上野委員) 道路情報などは特に冬場は知りたい情報だが、これからは工夫が必要。

(小林委員) これからの季節はどの道路も同じような映像になるので、きれいな季節の景色などを映してもらえると見ようと思うかも。

(齊京委員) 先日の有間川の事故は、即座に伝えてもらったので出勤してくるスタッフに注意を促すことが出来た。また、解除の情報もすぐに伝えられていた。

あのように、事故などの情報をすぐに伝えてもらえると助かる。

・生活情報番組「すまいる one」について

(紹介内容：歓送迎会特集 2月28日～放送)

(上野委員) 街のストーリーが季節ごとにわかるような構成があるとよいと思う。

旬の話題で面白いと思う。インターネットを使った紹介も考えてみては？

(小林委員) ターゲット層を考えると、グルメはもちろんだが、健康に関するネタも良いのではないか。

(齊京委員) 出演する機会があったが、番組後の反響あった。「観ましたよ」とか「どこかでお会いしましたよね」とか、観ていただいていることを実感した。

このことを踏まえ、商店街の商品はもちろん、お店の人を紹介することで、お店を市民に身近に感じてもらい、活性化につながるのではないか。

(佐藤委員) 季節や話題性など、その時に合わせたネタを選ぶことが大切。

(2) 下半期の特別番組について

(紹介内容：FM みょうこう開局記念番組、えちご謙信 SAKE まつり、上越フットサル選手権大会 中学生・ジュニアユース、もうすぐ一年生)

<もうすぐ一年生>

- (上野委員) 深夜の時間帯に流してもよいくらい心が癒される番組
情報量が多いテレビ番組の中でこれくらいのゆるさがあると
関係者でなくとも、優しい気持ちになれそう。
人のアーカイブという事ではフットサルも同様に夢を持つ子ども達の映像を
活用出来ると良い。 例えば結婚式など。
- (池田副会長) 成人式で活用されるのは本当に歴史的な長さを感じさせる
本人にとっても家族にとっても大切な思い出になるのもっと活用できたらよい
特に働きかけはしていないか？
- (福島) 成人式に関しては映像を持っているのでこちらから働きかけた。
財産であるし、当時夢を語っていた子がその道に進んでいる場合もある
弊社のコンテンツを提供することにより、イベントを盛り上げる事が出来れば
- (佐藤委員) 昔の記録を使うのは権利の部分で難しい面もある。

<SAKE まつり>

- (齋京) 生中継は大変だと思う、少しずつレベルアップしているので頑張ってもらいたい

(4) その他(全体を通して意見)

- (佐藤委員) テレビとラジオの同時生放送について
これから増やしていこうと考えているか？
- (福島) 現在は、おはよう上越そして、フットサル選手権の中継も同時放送を行なった
ラジオでも情報を取り入れることが出来るコンテンツについては、双方で流すことも
挑戦してみたい
- (佐藤委員) 全く同じ内容が流れているか？
- (福島) おはよう上越ではテレビの内容がそのまま流れている
そのため、アナウンサーの表現などを精査している
- (佐藤委員) NHK のラジオを聞いているが本の朗読は本当に上手で情景が思う浮かぶ
視覚と聴力では働きかけるもの違うと思うので かなりうまくやらないと難しいと思う
- (池田副会長) FM みょうこうはコミュニティ FM なので聞こえない地域もある
妙高の人間からすると上越でも同じ内容を聞くことが出来れば PR にもなって
よいと思う
- (上野委員) ベースはテレビ放送で FM のことはあまり考えなくてよい？
- (佐藤) とりあえずは放送メインで考えている。ただラジオで流すことを考えると
本当にそれで伝わるのか 聞いている人のことを考えながら努力していきたい
- (上野委員) FM と同時生放送を行なうことで JCV にどんなメリットがあるのか分からない
妙高の良い所を取材しているわけではなくスタジオの中のみだから季節感も
感じられない。

(佐藤) フットサルの中継でもテレビ用の喋りでは伝わらないという指摘もあった。
今後野球の同時放送も検討している、ラジオ専門のしゃべりも必要であろうという声もある。
検討していかなければならない

(小林委員) たまには山手のほうの情報も放送してもらえるとありがたい。

(上野委員) 山手のほうの活動のほうが面白いときもある。

知らないことも多い。

インバウンドつながりで、板倉の古民家が熱い！などの特集もよいのでは？

(会長) 上越市は広いので山のほうまで紹介するのは良いことだと思う

人や地域の記憶として映像を残して欲しい。

特別番組はこれからの展開が課題。 番組一つ一つで踏み込んだ内容など。

FM との同時放送は一緒に行なうことの意味を探っていないと、

それぞれの良さが生かせない。

もうすぐ一年生やフットサルなど、全国放送とは違い、映してもらえるという

期待感があるのが、JCV。

その映像を利用してもらう仕組み作りも重要なこと。

特別番組は重要な番組かと思うので多様多面な部分を検討して番組作りを深めて

いってほしい

(池田副会長) 公開講座もうまく活用できたらよい

高田世界館など 全国的に注目を集めている建物など

上越の歴史的価値のある 施設とのコラボがあっても面白い

真田丸は今後どのように？

(佐藤) ニュースの中では信越の仲間の局から映像をもらい、こちらで放送したり春日山と上田で
武将つながりということで

(池田副会長) ちょうど今上杉謙信が登場しているのもったいないな～と感じる。上越も流れに乗れる
ときなので。

(上野委員) 酒造りの様子など、普段あまりカメラが入らない場所の情報も知りたい

(西村会長) S A K E まつりは本当に注目されているので特別番組は企画力だと思う

(上野委員) 番組を見た人が会場を訪れるのは素晴らしいことだと思う。

高田駅からお客さんがワッと出てくる瞬間は、全国からお客さんが集まることを実証し
インパクトがあるので 撮影したほうがよいと思う

(池田副会長) フットサルの中継は、中学生などのほうが元気がもらえたり

家庭での話題になったりといろんな広がりが出てくる

競技自体はそれほど期待してみている人は少ないと思うが、

それよりも背景があった方が狙いとしてはよいと思う

(上野委員) スポーツ番組を目指さなくてよいと思う

番組や中継もネットなどソーシャルな配信をしたら、外部へ向けての宣伝にもなるし
局内スタッフのモチベーションも上がるのではないかな？

(小林委員) 上越全体で人口減少と過疎化が進んでいるが特に山間地では、祭りや文化などは人がいなくなるにつれてすたれていく。 町場と山手の人が一緒になって出来るような取り組みで観光に結びつけることが出来たら

(佐藤委員) 全国も県内ニュースもそれほど深くまで掘り下げたものは少ない。

つきつめた番組も時々あると良い

(齋京委員) くわどり地区は JCV が見たくて入っているのではなく

通常の民放を見るために入っているので、JCV を見るという感覚がない。

そのため、JCV のチャンネルを見るきっかけが無い。

月に一度の JCVfan! だけではたまたまザッピングの途中で

知人が出たり上越の店が出ていると思って止める。 せっかく良い物が流れているのでたまたま見る視聴者にみてもらうきっかけ作り、取り込む工夫が必要。

8. 閉会

議事録作成人 上越ケーブルビジョン 沢田真紀 ⑩

議事録署名人 西村 俊夫 ⑩